

くらしの
相談など、
いつでも
お気軽に

日本共産党 武蔵野市議団ニュース

2010年12月19日

No.134

《連絡先》

梶 雅子 47-9391

橋本 しげき 36-3110

発行 日本共産党武蔵野市議団 Tel 60-1888 fax 51-9485

12月議会

利用しやすい介護保険制度にする ために等質問

【梶 雅子議員】

9月の末に、私自身が転倒し、右足の大腿骨頸部骨折し人口骨頭置換手術を受けました。介護保険、住宅改修費、身体障害者手帳の申請をしましたが、高齢者にとって利用できる制度そのものを知り、申請をしなくては制度を使えないことの大変さを体験し、

- (1)利用しやすい介護保険制度について、
- (2)転倒予防のための筋力アップ体操を気軽にできるようにすることについて、
- (3)安心して入院できる制度の創設について、の3点を質問しました。

市長の主な答弁は、

- (1)まず市に相談してほしい。手続きの大変さは課題なので、国に引き続きあげていく。市内の病院には市の制度の案内チラシを置いてもらう。
- (2)東部地域からの総合体育館へのアクセスは要望があることは知っているが、公共機関を利用してほしい。地域でいろいろなプログラムを行っているので活用してほしい。
- (3)病院を市で紹介するのは難しい。療養病床の増加は国に意見を上げていきたい。高齢者入院見舞金制度は考えていない。という今と変わらないものでした。

市の雇用問題について等質問

【橋本しげき議員】

私は、

- (1)市の雇用問題について、(2)待機児童対策について、
- (3)若者の就職難問題について、(4)緑町1丁目のゴルフ練習場の騒音問題についての4点質問しました。

市長の回答は

- (1)要綱で嘱託職員の5年での雇い止めを定めているが、希望者を継続雇用できるように制度を見直す考えはない。5年過ぎても改めて応募することは可能。
- (2)認証保育所を4カ所誘致して120名の定員を確保した。また、北町保育園移転で30名定員を増やす予定。現時点で認可保育園増設計画はないが、つくらないとは言っていない。
- (3)ハローワークや商工会議所とさらに連携していきたい。学生の就職難問題については、市内大学と連携の下に取り組んでいる。
- (4)近々に騒音測定を実施し、必要があれば対策をとりたい、とのことでした。

1月の無料法律相談

1月11日(火)午後1時30分より(予定)

【毎月第2火曜日が法律相談日です】
*日本共産党市議会議員控室
*各議員まで予約を
*武蔵野法律事務所の弁護士が
相談にのります

傍聴いただき
ありがとうございました。